



平成21年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業採択
文部科学省科学技術人材育成費補助金「女性研究者研究活動支援事業（女性研究者支援モデル育成）」
学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン

岡山大学ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室



Newsletter



もくじ

学長、理事あいさつ	1
お知らせ	1
男女共同参画室の取り組み	2
「進化プラン」の最終年度を迎えて	2
特集：女性教員の研究活動をサポートしています	3
平成23年度活動予定	4
男女共同参画室員からのメッセージ	4
データで見る岡山大学 男女共同参画の現状②	4
編集後記	4

学長あいさつ

岡山大学は全国有数の歴史、規模を持つ総合大学であり、中国・四国地域における美しい学都として、国際的な研究・教育拠点とすることを目指しております。

本学が目指す国際的な大学創成には、国や地域、人種や男女にとらわれず多様性を高め、ダイバーシティ文化の醸成に努めることが肝要であり、これは現在ダイバーシティ推進本部において銳意進められているところであります。また、平成21年度文部科学省科学技術振興調整費事業採択の「学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」の推進は、国際的な研究・教育拠点の形成に欠くことのできない重要な事業と考えています。

本事業も最終年度を迎ましたが、これまで男女共同参画室が中心となり、女性研究者育成・支援事業のシステム構築を進めてまいりました。同時にシンポジウム、交流サロン事業を通じた意識改革の啓発、「おかやまサイエンス・トーク」を通じた科学の面白さを高校生へ発信する取り組みも進めております。ウーマン・テニュア・トラック(WTT)教員採用も順調に進み、女性研究者のサポート体制も充実する一方で、保育所の整備などの次世代育成支援策も急速に進展し、女性研究者の就業環境は確実に改善されてまいりました。

本事業が初期の目的を十二分に達成し、岡山大学の一層の発展に重要な役割を担うことを期待いたしております。

今後とも、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。



国立大学法人 岡山大学
学長 森田 潔

理事あいさつ

岡山大学の「学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」(平成21年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業)も最終年度を迎えました。

現在、本学の自然科学系分野の女性教員割合は10%であります。これを大きく増加させることが事業の第一義的目的であります。欧米の先進国では30%を超える国も多い現状から、一層の増加が期待されます。特に、国際的な研究・教育拠点を目指す本学では、女性教員の割合を更に引き上げることに加え、男女共同参画社会の実現に向けて学生も含めた全構成員の意識改革、働きやすい職場環境の整備を今後とも推進していきたいと考えております。

本学が真に国際的な「知」の拠点となることで、世界に通用する個性輝く多くの研究者が育ち、特に世界に羽ばたく多数の女性研究者が育つことを期待し、今後も次世代育成支援策を含めた男女共同参画の推進に取り組んでまいります。

事業最終年度では、これまで進めてきた就業環境整備の一層の充実、女性研究者サポート体制の整備・充実を図り、これまでの活動の総括と評価・検証を行い、来年度以降の継続的活動につなげていきたいと考えております。

今後とも、ご指導とご鞭撻のほどお願い申し上げます。



国立大学法人 岡山大学
ダイバーシティ推進本部
本部長 許南浩
(理事・副学長)

お知らせ

平成23年度 第1回交流サロン開催

信頼を築くコミュニケーション術～気持ちを聴く・気持ちを話す～

参加無料・当日参加可
事前参加申し込みにご協力下さい!

日時 平成23年6月22日 15時00分～17時30分 講師 市場 恵子氏 (心理専門相談員)
場所 岡山大学創立五十周年記念館(2階) 大会議室 広島大学等非常勤講師

本年度第1回交流サロンは、職場の上司と部下、同僚同士、教員と学生、妻と夫など、様々な関係において必要とされるコミュニケーションの方法について学び、スキルを高めることを目的として開催します。

子どもが病気になった時、どのように職場の上司や同僚に自分の状況を伝えれば、気兼ねなく休むことができるでしょう。また、あなたは人の話をどのように聴けばよいでしょう。このようなことについて参加者みんなで考え、簡単な練習をしてみませんか？

お申し込み・お問い合わせは男女共同参画室まで
E-mail: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp TEL: 086-251-7011



「進化プラン」の最終年度を迎えて

「学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」が走り始めてはや3年目となりました。「研究サポート体制」を充実させ、WTTによる「雇用」のチャンスを確保し、次世代に向けて循環型人材育成を牽引しています。この2年間の活動を基盤に、本年、「岡山大学男女共同参画推進基本計画」を策定しました。本計画に則って、今後、推進体制が整備され、活動が恒常化されますように、皆様方のご理解と御協力を御願い申し上げます。



ダイバーシティ推進本部男女共同参画室
室長 沖 陽子

岡山大学男女共同参画推進基本計画の策定

平成23年3月、男女共同参画に関する基本理念、基本方針、行動計画、および男女共同参画推進体制の整備と計画期間からなる『岡山大学男女共同参画推進基本計画』が策定されました(教育研究評議会および役員会にて承認)。基本計画には下記の5つの基本方針のもと、今後の具体的な行動計画が立てられています。

…基本方針…

1. 教育・研究および就労における男女の均等な機会の保障
2. 教育・研究および就労と生活との両立支援
3. 男女共同参画の視点に立った人材育成
4. 男女共同参画に関する意識改革
5. 男女共同参画に関する取組における地域社会との連携

今後は行動計画に基づき全学的な取り組みが進められます。
詳細はホームページをご覧下さい。

第Ⅱ期 岡山大学ウーマン・テニュア・トラック（WTT）教員採用



辞令交付式
(平成 23 年 4 月 4 日 学長室にて)

第Ⅱ期WTT教員

氏名	所属
前田 恵	大学院自然科学研究科(農) 生物機能化学講座 バイオサイエンス専攻
宮崎 祐子	大学院環境学研究科(農) 環境生態学講座 生命環境学専攻
飯尾 友愛	大学院保健学研究科 検査技術科学分野 生体情報科学

岡山大学では、「学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」の一環として第Ⅰ期ウーマン・テニュア・トラック(WTT)教員4名(平成22年4月1日採用)に引き続き、第Ⅱ期ウーマン・テニュア・トラック(WTT)教員を公募し、平成23年4月1日付で3名を採用しました。WTT教員3名には、学長より直接辞令が交付されました。



講義「社会人のためのプレリュード： 望ましいライフスタイル実現のために」

平成23年度前期は、WTT教員を始めとする学内講師8名および学外講師4名の協力の下、教養教育科目の主題科目(人間と社会)として「社会人のためのプレリュード：望ましいライフスタイル実現のために(2単位)」を開講しています。



WTT 教員を迎えて (授業の様子)

女性サポート相談室だより

第5回キャリアカフェ

4月27日(水) 本部棟にて、第5回目となるキャリアカフェを開催しました。「女性のライフプランを考える 10年後どんな女性でいたい」というテーマで、ランチの時間を使って開催し、参加者それぞれがお弁当を持ち寄り和気藹々とした雰囲気のなかで意見交換を行いました。参加者の30代女性から、現在の仕事と子育てに関する大変さや将来への漠然とした不安について次々に語られました。それに対して、こうした問題を乗り越えてきた先輩の女性職員から、自分の体験談を交えて、さまざまなアドバイスがありました。

参加者からは、「毎日子育てと仕事に忙しく、自分の10年先について考える暇はなかったが、今回をきっかけにじっくり考えた



い」「漠然と出産や子育てをイメージしていたが、経験者のいろんな話を聞けてとても参考になった」との感想がありました。

当日は、キャリアカフェの終了時刻が過ぎても話が終わらないほど盛り上がっていました。日頃業務に忙しく、いろんな話ができるのではないかと思います。こうしたキャリアカフェを通じて話し合いの場、学内の輪を作っていくたいと考えています。次回からは多くの方々のご参加を期待しています。

最後に、職場や家族のこと、子育てに関する不安など、女性のさまざまな悩みに対して、女性サポート相談室は情報提供や相談活動を行っています。どうぞ気軽にご利用ください。

[受付電話] 086-251-7011 (男女共同参画室)

[メール] support-w@adm.okayama-u.ac.jp

[相談時間] 10時～16時まで

[場所] 鹿田地区…医学部記念会館3階(月曜日)

津島地区…環境理工学部2階

キャリアサポート室分室(水・金曜日)

特集

女性教員の研究活動をサポートしています

岡山大学では、平成21年度より、科学技術振興調整費(現在、「科学技術人材育成費補助金」)により「学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」を実施しており、女性研究者の能力が十分に發揮できる研究環境の整備を目指しています。「進化プラン」で実施している事業の1つである研究支援員事業では、出産・育児・介護等の理由により仕事と家庭の両立が難しい理系(注:自然科学系および生命科学系)の女性教員に対して、研究補助業務に従事する研究支援員を配置しています。平成23年5月1日現在、主として生命科学系の女性教員6名が研究支援員事業を利用しています。

研究支援員事業利用者の選考にあたっては、複数の男女共同参画室員が申請資格を満たす利用申請者を直接面接しています。その際には、育児等により研究活動に支障が出ていて特別な支援が必要かどうか(研究サポートの必要性)および支援を行うことによって研究活動が推進される見込みがあるかどうか(研究推進効果の見込み)の2点を主たる判断材料としています。

研究支援員は、実験補助、研究データ解析、統計処理、資料作成、文献調査などといった幅広い研究補助業務を女性教員のニーズに応じて行います。これまでに、本学の大学院生や理系分野での修士号を持った方など、13名の優秀な方々が研究支援員として採用されました。

研究支援員事業利用者の第3次募集は、6月中に行う予定です。申請が認められた場合、平成23年10月から平成24年3月までの最大6ヶ月間利用することができます。是非応募をご検討下さい(お問い合わせは男女共同参画室(内線:7016)まで)。なお、第3次募集分につきましては、研究科所属の理系の非常勤研究員の方も応募していただけます。

岡山大学人材登録バンクとは

男女共同参画室では、研究支援者候補に関する情報を収集・提供する「岡山大学人材登録バンク」を設置し、女性教員の研究活動を支援しています。実験補助や文献調査等の研究支援を行っていただける方は男女共同参画室のホームページからご登録願います。

なお、常勤の女性教員の方は、研究支援員事業の利用とは関わりなく、ご自分の研究費等により研究支援者を雇用する際に、人材登録バンクから情報の提供を受けることができます。

* * 研究支援員事業に関する意見交換会のお知らせ * *

平成23年度末をもって「進化プラン」は終了しますので、平成24年度以降の研究支援員事業については内容を見直す必要があります。そこで、8月から9月にかけて、出産・育児期の女性研究者支援を考える意見交換会を鹿田地区で2回開催します。この問題に关心がある方の積極的なご参加をお待ちしております。



利用者紹介

プロフィール

菅原 康代 助教

大学院医歯薬学総合研究科 歯科矯正学分野

現在研究支援員事業を利用させていただいております。子供が産まれる前までは、臨床系に属しているため、日中は診療や教育、夕方から研究という日々を送っていました。すべての時間が自分の自由になっていたため、自分だけの都合で研究計画も立てることができ、また研究も時間の際限なく行っていました。しかしながら、子どもが産まれてからは、夕方から研究活動をスタートさせるという、生活スタイルを維持することが困難になりました。また、子どもがまだ幼いため、自分の事が自分で出来ず、また離乳食などの都合上、早めの帰宅が必要となっていました。その

中で、研究も両立させていくために、どのようにしたらよいかと試行錯誤しているときに出会ったのが、研究支援員事業でした。

その後、研究支援員事業を活用させていただくことが決定し、とてもすばらしい研究支援員が研究を手伝ってくださることになりました。現在研究支援員のおかげで、日中の時間帯、診療等で私が抜けなければならない時も研究を止めることなく続けることが出来るようになりました。そのため、研究活動も継続して行うことができるようになり、事業を利用させていただいている期間に研究論文も無事受理されました。また、少しずつ、子どもがいる生活にも慣れ、新たな仕事のスタイル確立にも本事業は寄与して頂いたと思います。

私の場合は、研究支援員事業を活用させていただいたことは、肉体的にも精神的にも大きな支えになりました。少しでも多くの同じような境遇で研究を続けることが困難な方々に、是非活用して頂きたい事業であると思います。

平成23年度活動予定

- 6月 ● 第2回 男女共同参画に関する管理職セミナー(15日)
● 平成23年度第1回交流サロン(22日)

- 7月 ● 第5回おかやまサイエンス・トーク(総社高校)(12日)
● 第6回おかやまサイエンス・トーク(勝山高校)(20日)
● 次世代女性研究者推進事業第1回講演会
「自然科学に魅せられて」(21日)
● 第7回おかやまサイエンス・トーク(矢掛高校)(26日)

- 8月 ● 研究スキルアップ講座(予定)
● 岡山大学オーブンキャンパス参加(5日・6日)

- 9月 ● 平成23年度第2回交流サロン(予定)
● 桃太郎フォーラム参加(予定)

- 10月 ● 第8回おかやまサイエンス・トーク(岡山一宮高校)(18日)
● 研究スキルアップ講座(予定)

- 11月 ● 第3回中国四国男女共同参画シンポジウム(11日)
● 第9回おかやまサイエンス・トーク(芳泉高校)(予定)

- 12月 ● 事業総括報告会(予定)

男女共同参画室員からのメッセージ

柴倉 美砂子
(岡山大学大学院保健学研究科 准教授)

保健学研究科では女性教員と男性教員は、ほぼ同数です。理想的な男女比ですが、人々の意識が変わらなければ、女性が抱える問題は減少しないと感じています。人が働きやすい社会・組織の実現に向けて、室員の方々と活動していきたいと思います。

大山 和美
(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 助手)

昨年10月に男女共同参画室のメンバーになりました。

女性研究者支援及び次世代育成支援活動や、鹿田地区での活動や行事に、大変微力ではありますが、自身の経験を生かすことが出来るよう、これからも取り組んでいきたいと思っています。



データで見る岡山大学 男女共同参画の現状②

本学の事務系職員に占める女性の割合は33.9%(492名中167名)であり、教員(12.5%)と比べるとかなり高いといえます(平成23年4月1日現在)。しかしながら、職位が上がるにつれ女性の割合が段々低くなるという状況は同じようです。

女性の割合を職位別に見た場合、係員や主任等では過半数を占めているのに対し、係長級では女性は22名(14.4%)しかおらず、さらに、課長補佐・専門員等(総括主査)では5名(11.6%)、課長相当職以上では3名(6.5%)、とかなり少なくなっています。特に、係長級職員に占める女性の割合は、国立大学における平均(22.3%(平成22年4月1日時点))と比較しても、かなり見劣りする数値になっています。

平成元年に本学で初めての女性係長を登用して以来、既に20年余りが過ぎていますが、雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保に向けてまだまだ努力が必要であると言えそうです。

クイズ

技術技能系職員(技術職員等)80名のうち、女性は15名(18.8%)を占めています。さて、技術技能系の管理的職位につく職員(技術専門員および技術専門職員)のうち、女性は何%を占めているでしょうか。
(答えは下に)

次世代女性研究者育成推進事業 第1回講演会

「自然科学に魅せられて」

参加無料

- 日時 平成23年7月21日(木)10時30分～12時00分
場所 薬学部中会議室(2号館2階)
講師 江口 律子 助教 (大学院自然科学研究科 機能分子科学専攻)
御輿 真穂 助教 (大学院自然科学研究科 バイオサイエンス専攻)
三谷 奈見季 助教 (資源植物科学研究所)

第一期WTT教員3名が、研究者になるまでの過程や現在の教育・研究活動等について講演いたします。

編集後記

目に青葉の季節、大学構内の銀杏もまぶしい新緑に彩られています。時を同じくして、キャンパスにはフレッシュな1年生を迎えるました。それぞれ進級した学生達も新たな気持ちで新学期に臨んでいるように感じます。男女共同参画室は、今年度から「社会人のためのプレリュード」という主題科目を立ち上げました。いろいろな講師を迎えて行うこの講義が、学生のみなさんの大学生活を充実したものにする一助になればよいと思っています。

構内の高い建物からの眺めもよいですが、大学近くの半田山植物園の展望台からみる岡山市内はなかなかのものです。まだの方は一度試してみて下さい。

お問い合わせ

国立大学法人 岡山大学
ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室



〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号
TEL & FAX: 086-251-7011
E-mail: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/diversity/danjo/>

